

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date:平成 28 年 3 月 25 日

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・准教授
氏名 Name	水野 亜紀子
専門分野 Academic Field	日本近代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	一葉の作品と「文学界」の作品との関係
<p>樋口一葉の作品における「文学界」からの影響について考察するため、「文学界」掲載作品に目を向け、作品分析に取り組む。「文学界」同人の中でも特に星野天知、北村透谷、平田秃木、島崎藤村の作品を取り上げた。対象とする時期は明治二十六年一月から明治二十七年六月までにしぼった。</p> <p>明治二十六年一月創刊の「文学界」は日本の浪漫主義文学を文学運動にまで盛り上げた雑誌である。一葉の作品はそこへ掲載されることになるが、一葉作品は浪漫主義文学の系譜へと位置付けられることはない。これについて笹淵友一氏は「いうまでもなく浪漫主義というのは、価値範疇ではなくて様式範疇であるから、作品価値においてすぐれているからといって一葉の作品を文学界浪漫主義の中に包括しようとするれば、浪漫主義の概念にさうとう水を割らねばならない」(『日本近代文学大事典』講談社、一九七七)と解説する。ただ、一葉がその創作活動において「文学界」同人の作物から影響を受けていたかどうかという事はまた別の問題であり、様々な位相において、一葉作品における「文学界」からの影響を探ることは、一葉の文学について考察するうえで意義深いことであると考えられる。そこでまずは対象とした「文学界」作品について、各作家の中での位置付けや、思想的な背景について論じる先行研究を整理した。回顧録、随筆、関係資料の収集を行った。個別の作品について、作品内容への理解を深めた。その一方で、日本浪漫主義をめぐる議論が大ききどのように進められてきたかについても整理を行った。昨年度まで行ってきた、「雪の日」「琴の音」「花ごもり」「やみ夜」「大つごもり」「たけくらべ」といった一葉作品の分析の結果を視野に入れながら、引き続き調査と作品分析を続けていく予定である。今後は成果をまとめた。</p>	